10月

バアバちゃんの子育て考　NO.1

吉田緑こども園
理事長　長谷川智子

しのびやかに秋の気配が感じられるようになりました。

ほとんどの行事が中止される中、せめて少しでも子どもの成長を保護者の皆様に見ていただこうとスポーツ参観日（運動会？）を開催することにしました。

子ども達の思いを外で、はじけさせたいと思います。〝コロナ”で練習もままならないけれども子どもの自主性の発揮どころと思います。

〝集団”という園の小さな社会の中で、我慢をしたりわがまま言ったりしながら心が育ちます。

バアバは小さい時ケンカをしたら祖母から

「我が身をつねって人の痛さを知れ」 とよく言われました。

運動会では、かけっこが苦手だったけど、自分の痛みがあったから思いやりの心が育ったかなと思います。

子どもはひとりひとり成育・環境も異なり発達も違います。家族や社会はそれに応じて慈しんで育てなければなりません。

私達保育教諭は毎日子ども同士を比べるのではなく子どもひとりひとりの育ちに応じて援助する様努力しています。

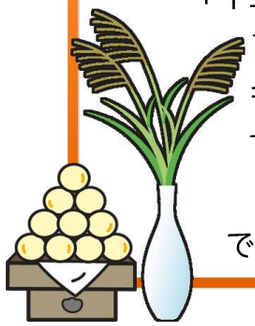
子どもが命を失うニュースを見るたびにバアバは心が痛みます。子どもを認め（泣くことでしか表現できない子どもも）見守り、待つことで子どもは育ちます。

子どもの命　大切にしましょうネ。

だんごやススキを供えて楽しむ　お月見

旧暦の８月１５日を９月１３日の夜に、だんごやススキ、いも、豆、くりを供えて月を眺める行事を「お月見」といい、それぞれ「十五夜」、「十三夜」と呼びます。十五夜の時にいもを、十三夜の時に豆を供えるので、十五夜を「いも名月」、十三夜を「豆名月」と呼ぶこともあります。

きれいな月の夜に、お供えをしてお月見を楽しんでみませんか。



お月見は２回行う

お月見は十五夜と十三夜に２回行うのが習わしで、どちらか片方だけ月見をするのは「片見月（片月見）」といって縁起が悪いとされています。2020 年は十五夜が１０月１日、十三夜が１０月２９日です。

だんごを食べる時は

食べやすい大きさにして、お子さんにはゆっくりよくかんで飲み込むように伝えます。窒息の危険があるので、食べている間は遊んだり歩いたりしないように注意して、目を離さないようにしましょう。

たのしくたべようニュースから